

## 令和2年度 第1回学校評価委員会報告

日 時 令和2年9月2日（水）午後8時

場 所 群馬県歯科医師会館 2階 常務会室

出席者 村山利之委員長、小川卓委員、中野玲子委員、森島愛一郎委員、小野好一委員、高瀬裕志委員、斉藤崇委員、高橋邦夫委員

### 1 開 会

### 2 挨拶

村山委員長から令和2年度第1回学校評価委員会の開催について、挨拶が行われた。

### 3 委員紹介

### 4 報 告

高橋委員から本評価委員会の設置、目的等について説明がされた。来年4月からの高等教育の修学支援新制度の実施に伴い新たに設けた委員会であり、本委員会では、校内での自己評価を実施し、その結果を受けて、よりよい専門的な教育が行えるよう、教育活動や学校運営の改善を行うものである旨を述べた。

また、先に開催された「自己評価委員会」の報告として、今年度の重点目標に掲げる「国家試験合格率」「県内就職率」「定員数の確保」といった評価結果について、資料に基づきを報告した。

また、49項目別の「学校評価」自己評価集計結果については、各項目「3」以上で、ほぼ適切であると評価された。本学院では、国家試験の不合格者がおり合格率は100%に達しなかったが、全国の合格率を上回ることができた点や2年連続で定員割れをしており、県内歯科診療所における「歯科衛生士不足」や「財政基盤の安定」のためにも学生数の確保に努めていくことが報告された。

### 5 協 議

以上の報告事項を踏まえて協議の結果、歯科衛生士不足や財政基盤の安定、学校の運営面や体制づくり等は、学生の確保が重要な課題である。学生確保の手段として、オープンキャンパスの開催、学校訪問等が入学に結びついていることか

ら、参加者の増加に努めることやホームページ等の充実を図り歯科衛生士という職業のすばらしさを伝えることで、入口に立つ学生を増加させ学生数の確保に努めて頂きたい旨、発言があった。また、令和2年度より入学金及び入学検定料の引き下げを行ったので、保護者並びに学生にアピールして学生数の確保に繋げていただきたい旨、要望があった。

6 その他

7 閉 会